



例 言 ..... 5

I 閃 光

原 爆 ..... 是永 千秋 20

げんばく ..... 松島 愛子 20

原爆の日 ..... 奥本 清志 20

自画像 ..... 神田 周三 21

忌わしき思い出の日に ..... 福田須磨子 21

水ヲ下サイ ..... 原 民喜 23

青い閃光 ..... 草間 透 24

記 録 ..... 向井 孝 24

八月六日 ..... 峠 三吉 26

お父さん(一) ..... 原田 治 27

親 子 ..... 榎 博 27

ピカドン ..... 横本 弘美 28

貧乏になった ..... 松田 敬伸 28

うめぼし ..... 池田 ソメ 29

ヒロシマの空 ..... 林 幸子 30

ヒロシマ ..... 中村 温 33

ニセアカシア ..... 池辺よみこ 35

Ⅱ 魂よ鎮まれ

コレガ人間ナノデス……………	原 民喜	36
八月十一日・僕達の傷痕……………	三上 正雄	36
その夜……………	石垣 智里	38
生ましめんかな……………	栗原 貞子	39
原 爆……………	稲富 和子	39
炎ノ街……………	中村 温	40
冴えた眼から……………	深川 宗俊	42
人体模型……………	木下 和郎	43
皮膚のない裸群……………	山本 康夫	44
全員死亡……………	志水 清	45
ケロイドの花……………	井津元久美夫	46
原爆娘の一人ごと……………	尾形 静子	47
お ば……………	大前 明子	48
記 録……………	土井 貞子	48
蔓びる影……………	津田 欣二	52
実 証……………	福谷 昭二	53
死者への問いかけ……………	大島 久徴	53
声なきものへ……………	山田 数子	55
十 年……………	山田 数子	55

重い声	坂村 真民	55
愛する兄は	菅間 暁美	56
八月六日	原田真智子	57
町の風景	清水享太郎	57
いのり	遠藤 春子	58
八月六日	鈴木 召平	59
祈る	栗田 素江	60
被爆慰霊碑文	たさか・かずお	61
父よ	荒木 博美	62
祈 禱	田中喜四郎	63
春に想う	角本 明江	65
原爆資料館	田村 節子	67
夜の平和公園	田村 節子	67
原爆祭見物者	中浜 直明	68
ヒロシマ・わが幻	沢村 光博	69
ドームにて	丘 高人	70
記 憶	金沢 星子	71
みどりゆく	真壁 仁	71
ひとつの夏	下島 準三	73

足音——平和行進	渡辺 邦秋	74
八 月	清水 高範	75
死者たちの夏	宮上 周正	76
焦土を拾う——長崎の或る未亡人に代って	町田トシ子	77
道	小倉 春枝	78
花崗岩	津田 定雄	79
黙 禱	倉知 和明	80
黒い静脈——ひろしま抒情その十二	寺田 弘	81
平和公園	野村百合枝	82
燈籠ながし	小園 愛子	82
川の四季	福井 嘉和	84
深海魚のように	近藤 東	85
八月六日の砂	米田 栄作	86
残酷な夏の終りに——被爆のKに	長島 三芳	87
ヒロシマの午後——一九六四年八月七日	タマキ・ケンジ	89
言ってください どうか	大岡 信	95
小さなひかり——平和詩集のために	三好豊一郎	97
よか 日	倉田千恵子	98
骨片のような雪がふる	津田 欣二	99

再建天主堂	田中礼次郎	100
十三の原点	小堺 吉光	101
明日と今日の間で——妹に	喜連 敏生	103
花々と聖歌隊	深江 福吉	105
写真の中の友	峡 草夫	105
のいばらの道は	佐藤 祝子	107
永遠のみどり	原 民喜	108
原民喜詩碑一周年	熊平 武二	108
不滅の光り	吉田万太郎	109
レクイエム——浜井信三氏の霊に捧げる	大原三八雄	110
悲 歌	末田 重幸	111
さつまいもの歌	水野 潤一	113
慟 哭	山田 数子	115
失ったものに	山田 数子	116
風	山田 数子	116
41年1月5日	名越 操	116
心に夜が水のようにひろがるとき	寒川鮎太郎	117
夏に逝った友に	中原 宏子	117
オ	山本 衛	118
ゲ		

Ⅲ 広島の河 浦上の空

ヒロシマはわがもの……………	風山 瑕生	119
私の故郷は長崎です——原爆十周年の追憶……………	風木雲太郎	122
眼……………	峠 三吉	123
マスク……………	生田 均	124
なぜ？……………	北浜 迪	125
無 題……………	岡本 陽子	126
ぼくのあたま……………	河合 賢治	127
先生のやけど……………	かくたにのぶこ	127
ヨシちゃん……………	四国 五郎	128
広 島……………	崎本 正	128
無 題……………	河本 一郎	129
兄の死——『暖光二十年』から……………	石田 明	130
影……………	石田 明	132
初毛が生えた……………	石田 明	133
不 在……………	轟 龍造	134
被爆者……………	西村 豊作	136
芳野あわれ……………	伊福 重一	137
亀 裂……………	近藤 栄治	138
傷痕去らぬ君と共に……………	中村 新七	139

ケロイドは永久に癒えず	島	明子	142
二十年のピリオッド	国松利伊子		142
石	山田	かん	143
炎	副島	智男	145
灼けた眼	島田	勇	146
僕は死ねない	徳納	晃一	147
怖れ	増岡	敏和	148
作文の時間	鷹村	美代子	149
毒蛾	河上	鎌太郎	150
胎内被爆	浅尾	忠男	151
公約の文字が追ってくる	山本	節子	153
聞えなくなつたぼくらの聴覚	秋吉	久紀夫	154
原ばく	西山	洋子	155
戦争	松井	好子	155
ひとりごと	福田	須磨子	155
泥 滓	松本	裕利	156
明日への歌	山村	好一	157
基 地	金城	美津子	158
同じ空の下に——ルポルタージュ詩「広島」	木下	夕爾	159



あの人……………	名越 操	163
ある形骸……………	島 陽二	164
地点通過……………	山田 かん	165
ヒロシマの顔……………	森下 弘	166
誰が懐古などするか……………	西原 茂	167
内に向って……………	岩阪 恵子	168
その瞳は澄んでいた……………	新井 敏彦	169
語りつたえよ……………	青木 渡	171
黒い鳥……………	小梨 守夫	173
平和公園／笑い……………	松尾 静明	173
今年も八月が……………	堀 ひろじ	175
ひもじい季節……………	島田 輝子	176
被爆後十六年……………	芦沢 敏	177
ひかりの列に……………	秋山 基夫	178
錫 杖……………	小林 正	179
原爆十周年に……………	小野十三郎	180
俺は俺に署名はしない……………	入江 昭三	181
留 守……………	中島 百万	182
原子野……………	山口 宏	183

映画「ひろしま」を見て……………	平田 耕三	183
沈む……………	中里 喜昭	184
原爆……………	福吉 高子	184
はがゆい……………	正田 篠枝	185
とまどい——弔慰金によせて……………	望月 久	185
観光バス……………	藤井 ゆり	186
大きな穴……………	冬木 信子	187
パントマイム……………	戎 栄一	188
無言の証人……………	井上 義男	188
ヒロシマの偶然——『詩集ヒロシマ』を読んで……………	長友 隆彦	189
死人のリスト……………	浜野チホ子	190
孤児写真集……………	向井 孝	192
今日の空が眼に痛い……………	小林 正	193
原爆……………	戸井田 茂	194
戦争放棄……………	堀井 茂	195
げんしばくだん……………	坂本はつみ	196
げんしばくだん……………	豊島 紘一	196
思いちがい……………	正田 篠枝	196
廃墟はまだ冷えていない——広島訪問……………	永瀬 清子	197

測量者の希い……………	山上	博	198
つづいているあやまち……………	岩谷	隆司	200
炎の河……………	庄田	美夫	200
警見ナガサキ……………	汐見純一郎		202
おばあさん……………	岡本	紀子	203
無題……………	田尾	絹江	203
おかあさんのげんぱくしょう……………	川野	哲彦	204
姉ちゃん……………	池田	博彰	204
原爆体験記……………	岡本	俊夫	205
無題……………	佐藤	智子	206
神さま生命をください……………	山崎	弘子	206
爪跡……………	寿山	久代	207
父の死……………	正田	篠枝	207
あなたに……………	四国	五郎	208
被爆者のおばあさん……………	堀	ひろじ	210
原爆症認定通知書……………	向田	晃	211
焼かれた眼……………	名越	操	212
怒りの夜……………	黒岩	鉄雄	214
そいつ……………	崎本	正	216

IV 未来風景

麦の穂……………	阪本 越郎	217
おどんはそいば待っとる——長崎の柱たち……………	草野 哲夫	218
冬の主題……………	秋谷 豊	219
蟻 よ……………	佐竹 信朗	220
ひまわり……………	近藤 泰和	221
呼びかけ……………	峠 三吉	221
お父さん(二)……………	原田 治	222
未来風景……………	栗原 貞子	226
現代のカルテ……………	原口喜久也	227
病棟の夜の底で(抄)……………	原口喜久也	228
原子と人間……………	湯川 秀樹	228
暁をよぶこえ……………	栗原 貞子	231
平凡なひとびとの唄……………	中村 匡行	232
破 誠……………	大原三八雄	233
げんばくのこと……………	林 裕子	234
映画「千ばづる」を見てぼくの思ったこと……………	かけややすお	235
マンモスの牙……………	草野 心平	235
広島の鶴……………	新井 章夫	236
冬——胎内被爆者の手記……………	犬塚 昭夫	237

グラフに載った写真	238	吉塚 勤治
香華の霞の中で	243	島 匠介
億の影	244	中桐 雅夫
終 末——その時ではもう遅いのだ	246	塚本 貞一
B 52つい落に思う	247	平良 清美
沖縄の人々	248	安富祖治雄
拒む風景の中で	248	宮原隆之助
この川の罫り——浦上川	251	東 佐和子
大臣のうた	252	岡本 潤
広島讃歌	253	水野 潤一
長い道を	254	山田 かん
みんな死ねばいいんだ	256	正田 篠枝
解説1	259	ヒロシマ・ナガサキと原爆詩の四半世紀
解説2	267	原爆詩はわれわれに何を問うか
地図1	1	木下順二・堀田善衛
地図2	3	大原三八雄
	4	見返し
		見返し
		見返し

